

W I N E C E L L A R

WF-P28GS-LTD

日本メーカー製ペルチェ採用
《冷却+加温機能》

ワインセラー 収納本数28本(最大33本)

このたびは、家庭用ワインセラーWF-P28GS-LTDをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は
大切に保管してください。

P.3~4の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

はじめに

主な特長

ペアガラス採用

温度変化の少ないペアガラスを採用し、より安定した温度管理ができます。

最適な温度管理

ワインの種類によってきめ細やかな温度設定をしたり、ワンタッチで設定温度を変えることができます。

ペルチェ式冷却・加温

コンプレッサーのような可動部がないため、ワインを劣化させる振動を極力抑えます。

またフロンガスを一切使用していないので、地球環境にやさしい設計です。

ご注意

本機は日本国内専用です。

交流100V以外のコンセントには接続しないでください。

本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本機はワインの良好な貯蔵環境を提供するもので、ワインそのものの品質を保証するものではありません。

また、ワインセラーの運転状態や庫内温度、ワインの保存状態、結露の状態など常に注意を払うよう心がけてください。

なお、万一、停電、本機の故障、取り扱い不良によるワインの劣化などがありましても、ワインそのものの補償はいたしかねますのでご了承ください。

ご不明な点や修理に関するご相談

お取り扱いや、お手入れに関する不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のデバイススタイルカスタマーサポートセンターにご相談ください。

 0570-067788

email : customer.support@devicestyle.co.jp

URL : <http://www.devicestyle.co.jp>

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間：月曜～金曜9時30分～17時30分（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

もくじ

はじめに	2	お手入れのしかた	9
安全上のご注意(必ずお読みください)	3	故障かな?と思ったときは	10
据え付け場所について	5	主な仕様	11
各部の名前	6	保証とアフターサービス	11
ワインを保存する	7	保証書	裏表紙

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。
 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
 いろいろな絵表示をしています。

表示の意味



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

○記号は、禁止の行為であることをあらわします。
 図の中や下に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。
 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



警告



分解禁止

修理、改造や分解をしない。
 発火や異常動作をして、破損やけがの原因となることがあります。



禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。
 感電のおそれがあります。



守る

電源プラグは専用コンセントに差し込む。
 一つのコンセントから複数機器をつなぐ「たこ足配線」をすると、ショート、火災のおそれがあります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、
 ステープルで止めたり、重いものを乗せたり、
 そのほか無理のかかることをしない。
 ショートや感電、故障の原因となります。



守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
 差込が不完全だと、感電やショート、発火の原因となります。



禁止

ワインセラーの上にものを置かない。
 落下してけがをしたり、水がこぼれて漏水や火災のおそれがあります。



禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。
 他の電源に接続すると故障や感電、発火の原因になります。



守る

お子さまのいたずらにご注意
 ドアにぶら下がったり、上に乗ったりしない
 ようにご注意ください。けがや感電、故障のおそれがあります。



禁止

本体や、庫内に水をかけない。
 ショートや感電、故障の原因となります。



禁止

吸・排気口にピン、クリップ、針などの異物を入れない。
 故障、火災や感電のおそれがあります。



禁止

風呂場など湿度の高い場所に設置しない。
 ショートや感電、故障の原因となります。



守る

廃棄をするときはドアパッキンを外す。
 幼児が閉じてめられるおそれがあります。
 ※ドアパッキンは強く引っ張るとはずれ
 ます。

安全上のご注意(つづき)

警告



禁止

ほこりの多い場所には設置しない。
電源プラグにほこりが付着するとショートや過熱、故障の原因となります。



禁止

可燃性スプレーをワインセラーにかけたり、近くで使ったりしない。
電気接点の火花などで引火するおそれがあります。



プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。
感電のおそれがあります。



プラグを抜く

煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

注意



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがや劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。



禁止

ワインを積み重ねたりしない。
ワインが滑り落ちて、けがや故障の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない。
故障や、転倒によるけが、感電のおそれがあります。



禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。
故障の原因となります。



守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。
断線や感電、ショート、発火の原因となります。



禁止

本体をアルコール、シンナーなどの薬品で拭かない。
塗装を傷つけたり、プラスチックを傷めます。



禁止

ワインは不安定な状態で保存しない。
ワイン棚の定められた場所に不安定にならないように保存してください。
ワインが滑り落ちて、けがや故障の原因となります。



禁止

移動するときは引きずらない。
床材を傷つけるおそれがあります。

廃棄時のご注意

本製品は、家電リサイクル法の対象製品です。

家電リサイクル法では、対象製品を廃棄される場合は収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象製品を販売店もしくは市町村に適正に引き渡すことが求められています。

据え付け場所について

■ 直射日光や、暖房器具など熱の当たらないところ

熱効率を良くして、電気代を節約しましょう。

※使用環境温度は、10~30℃です。

※冷却能力については使用環境温度でご利用の場合、周囲温度から約14~15℃下げることができます。

例えば周囲温度が25℃の場合は、庫内の温度を約10~11℃まで冷やせます。

(加温能力は周囲温度から約8℃程度上げることができます。)

■ 湿気が少ないところ

湿度が高いとサビや故障の原因になります。

■ ラジオ・テレビ・コードレス電話などから離しておく

ラジオ・テレビ・コードレス電話などの近くに置くとラジオ・テレビ・コードレス電話などに雑音や、画面に縞模様などのノイズが入ることがあります。

■ 丈夫で水平な床面に置く

きしみ、傾きなどのない丈夫な床に、がたつきがないように設置してください。

前後の調整脚を回して、高さを調整することができます。

※ 調整脚は前後4本とも調整することができます。脚を回しすぎると本体から外れることがありますのでご注意ください。

■ 放熱スペースをあける

庫内温度を一定に保つため、背面・上部は15cm以上、左右は10cm以上スペースを空けてください。吸排気口をふさがないでください。

※ じゅうたん、カーペット、ビニールタイルなどの上に直接置くとあとがつきます。この場合は丈夫な板を敷いて、その上に設置してください。

■ ワインセラーを積み重ねたり、棚の上などに置かない。

地震などで転倒すると、けがや、故障のおそれがあります。

運搬をするときは

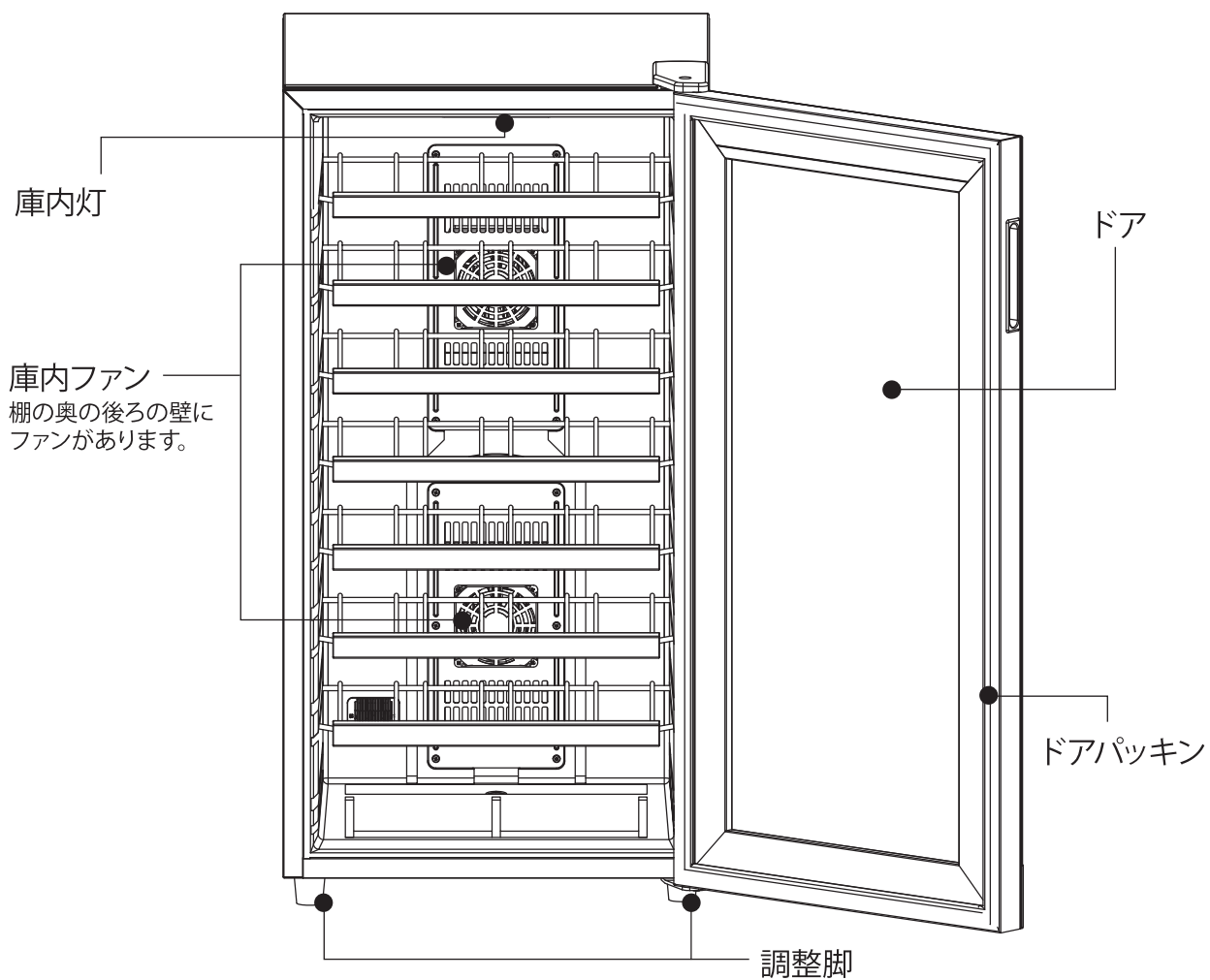
運搬をするときは

1. 電源プラグを抜く。
2. ワインを全て取り出す。
3. 棚板を全て外す。
4. 庫内に水がないことを確認する。
5. ガラス扉が開かないようにテープで固定する。
6. ドアを持って運ばない。

その上でけがに気を付けて運んでください。

ワインセラーの底の部分に手を入れる場合はけがの危険がありますので十分ご注意ください。

各部の名前



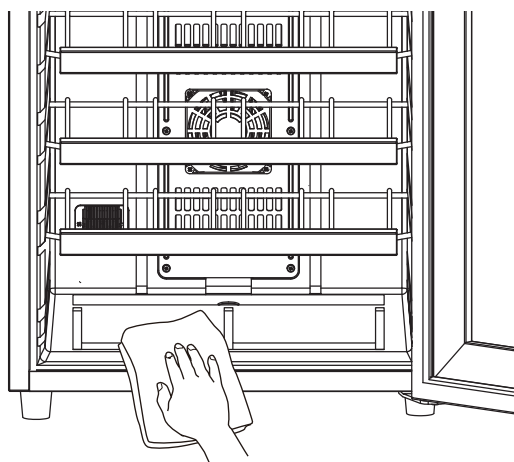
※給排気口は背面にあります。

ワインを保存する

ワインを保存する準備

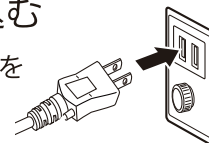
1. 庫内をきれいに拭く

ご使用前に、ぬるま湯を浸してよく絞った布で庫内を拭いてください。



2. 電源コードを差し込む

壁のコンセントに電源プラグを差し込みます。



一つのコンセントから複数の機器をつなぐ「たこ足配線」はしないでください。

※ 初めてご使用のときは庫内の温度が設定した温度に到達するまで約1日かかります。

※ 冷却能力については下記をご参照ください。

庫内温度を設定する

- 庫内温度は温度設定ボタンを押すことで4~22℃まで設定できます。設定した温度と実際の庫内温度は周囲の温度などにより異なることがあります。

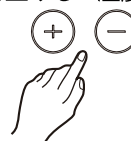
※ 冷却能力については使用環境温度(10~30℃)の範囲内でご使用の場合、周囲温度から最大で約14~15℃下げることができます。例えば周囲温度が25℃の場合は、最大で約10~11℃まで下がります。

※ 設置場所、周囲環境および収納本数によっては温度にばらつきが生じる事があります。

※ 一般的に赤ワインは約15~18℃、白ワインは約10~14℃で保存することが良いと言われています。

※ 夏場などは周囲温度が30℃をこえた場合、15℃まで下がらない場合があります。

温度を上げる 温度を下げる



ディスプレイに表示される温度は設定温度です。

庫内灯をオン・オフする

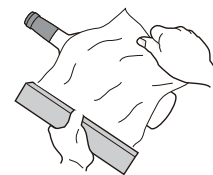
- ☆ ボタンを押すたびに庫内灯がオン・オフします。※ 庫内灯を常時点灯したままにしないでください。



ワインを保存する(つづき)

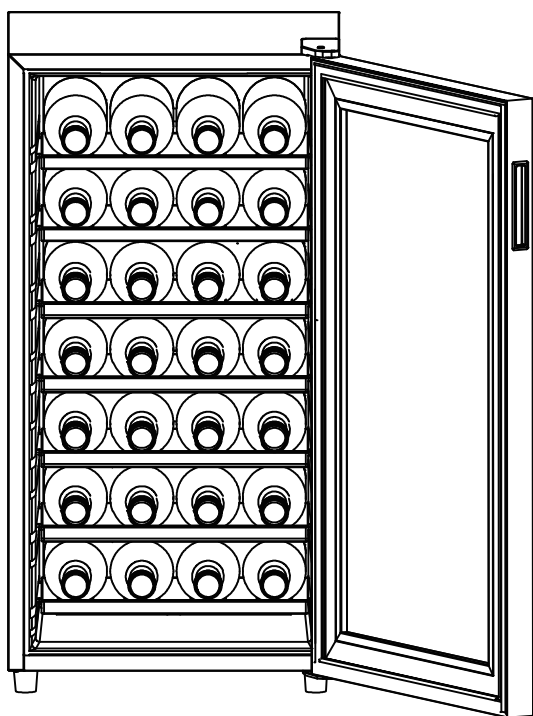
ワインを保存するときのご注意

- 保存する前にワインの瓶を良く拭いてください。
長期間保存するときはラベル部分にラップを巻いて保存すると、カビや露からラベルを保護することができます。

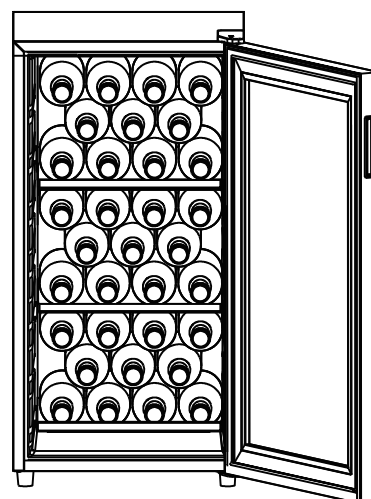


- 一枚の棚板に4本収納することができます。

750ml入り、ボルドータイプの収納例です。
ボトルサイズや形状により収納形態や、本数が変わります。
ボトル径の太いワインを収納するときは、棚を外してご使用ください。



- 下記のように棚を取り外すことで、最大33本収納することが可能です。
(ボルドータイプの場合)
一つの棚にワインを積むのは3段までです。
4段以上は積まないでください。



庫内は上部と下部で温度に差がでます。(下部の方が低くなります。)
赤ワインを上部に、白ワインを下部に入れることをおすすめします。



一つの棚にワインを積むのは3段までです。
4段以上は積まないでください。
ワインが崩れたり滑り落ちたりしないように注意してください。



庫内の下部に水分が溜まる場合があります。
溜まった水分は布でふき取ってください。

お手入れのしかた

ワインセラーを清潔に保ち、また安全にお使いいただくために年に1回は電源プラグを抜き、庫内の清掃とプラグの点検をしてください。

また、吸・排気口などは目づまりすると冷却効率が悪くなるばかりでなく、過熱するおそれがありますので、1カ月に一度チェックをして清掃してください。(ほこりの多い所でご使用の時は、よりこまめにチェックしてください。)

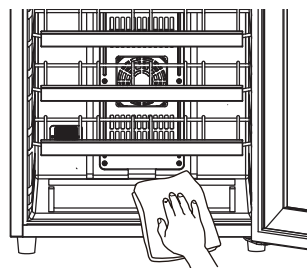
背面を確認するときや布で拭き取るときは、熱くなっている部分がありますので十分にご注意ください。

⚠ 注意

- お手入れの際は必ずコンセントから電源プラグを抜く
感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因になります。
- 本体や、庫内に水をかけない
漏電や、火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりは漏電や火災の原因になります。

庫内、棚板、ドアパッキンの清掃

柔らかい布でから拭きしてください。
ヨゴレが落ちにくいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を含ませた布で良く洗剤を拭き取ってください。
棚板は取り外して、丁寧に拭いてください。



ドアに結露した場合は. . .

外気温が低かったり、部屋の湿度が極端に高い場合などに、ドアに結露することがあります。このような時は結露を乾いた布で拭き取ってください。

重要 清掃のときは、次の製品は使わないでください。



- 「アルカリ性」または「弱アルカリ性」洗剤(洗剤のラベルに表示されています。)プラスチック製品にひびが入るおそれがあります。
- みがき粉、粉石鹼などや、たわし、ナイロンたわし、研磨粒子付き不織布などや酸、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品プラスチック製品に傷が付いたり塗装面を傷めます。
- 化学ぞうきんは庫内に使わないでください。そのほかの部分には化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。
油が付着したときは、必ずふき取ってください。

停電をしたときは

ガラス扉の開閉をせず、ワインの出し入れをしないで、庫内温度を保つようにしましょう。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いて、庫内を良く乾拭きして、2~3日ドアを開けておくとカビやにおいの発生を防げます。

故障かな?と思ったときは

機器が動作しないなどの故障かな?と思われる症状があるときは、まず下の表の原因をご確認ください。症状が改善されない場合、弊社カスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに根元まで差し込んでいますか? ● 停電していませんか? ● ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか?
よく冷えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 部屋の温度が高すぎませんか? ● 収納本数限度以上を入れていませんか? ● 温度設定は正しいですか? ● ドアパッキンはドアにしっかり取り付いていますか? ● ドアにすき間が空いたまま使用していませんか? ● ドアの開閉がひんぱんではありませんか? ● 庫内ファンの奥に霜が付いていませんか?*
音がうるさい。	<ul style="list-style-type: none"> ● しっかりした床に設置してありますか?(水平ですか?) ● ワインボトルが、がたつきがないように正しく収納されていますか? ● ワインセラーにもものが乗っていたり、ものが触れたりしていませんか? ● 庫内ファンの奥に霜が付いていませんか?*
庫内に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内に露が付くことがあります。乾いた布で拭き取ってください。 ● 設置環境の湿度が高すぎませんか? ● ドアをひんぱんに開けているか開け放しにしていませんか? ● ガラス扉のドアパッキンはしっかり取り付いていますか?
ドアやドアと本体の間に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部の温度や、湿度によって、露が付くことがあります。乾いた布で拭き取ってください。 ● 過度の結露はドアが正しく閉まっていない場合があります。ドアが正しく閉まっていないことで、中の冷たい空気と外気の暖かい空気が露を作り出します。ドアをしっかりと閉めてください。
ドアが閉まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が水平に設置されていますか? ● ドアと本体の間に障害物がある、ワインボトルの位置が正常でない、棚板が外れているなどしていませんか?
湿度が低い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置環境によっては湿度が低くなる場合があります。 →底の広いコップやトレーに水を含ませたスポンジを入れて庫内最下段に置くことで湿度をあげることが可能な場合があります。 この場合、最下段の棚は取り外し、最下段にワインを入れないようにして下さい。
*ファンの奥に霜が付いている。	<p>冷蔵庫などと同じように、霜取りを実施して下さい。 コンセントを抜いてドアを開け、約15~20分放置すると霜が取れます。</p>

主な仕様

種類	ワインセラー
定格内容積	75L
収納本数	28本（最大33本）
外形寸法	幅 413 x 奥行 525 x 高さ 814 mm
本体質量	25 kg
定格電圧/周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	100W/100W
使用環境温度	10~30℃ <small>冷却能力については使用環境温度(10-30℃)の範囲内でご使用の場合、周囲温度から約14~15℃下げることができます。設定温度と実際の庫内温度は周囲温度により異なります。</small>
庫内温度設定範囲	4~22℃
電源コード長	1.8m

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（本書裏表紙）は必ず「販売店名、お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただきお買い上げのレシートとともに大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼される時

保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

ご不明な場合は アフターサービスについてご不明な場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店または直接弊社へお問い合わせください。

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答にのみ利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
- ・取得した個人情報は、法令に基づき開示・提供を求められた場合を除き第三者に提供することはありません。

<ご注意> 保証期間中であっても機械の取扱い不備、改造、加工、仕様変更、いたずらなどによる修理や消耗品の交換の場合は有償となりますのでご注意ください。

デバイススタイル カスタマーサポートセンター

 0570-067788

email : customer.support@devicestyle.co.jp

URL : <http://www.devicestyle.co.jp>

お問い合わせは弊社ホームページの「お問い合わせフォーム」が便利です。

受付時間：月曜～金曜 9時30分～17時30分（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

